## 原子力災害を踏まえたまちづくりの課題と復興モデルに関する研究 事業概要

S.
F-REI

募集課題名 原子力災害に関するデータや知見の集積・発信分野 令和5年度「福島浜通り地域におけるまちづくり研究

及びラーニング・コミュニティハブ整備」委託事業

テーマ(1)福島浜通り地域におけるまちづくり研究

研究実施者 充弘(福島工業高等専門学校 都市システム工学科 教授)

実施予定期間 令和11年度まで(ただし実施期間中の各種評価等により変更があり得る)

【背景・目的】

原子力災害発生前後のまちの実態と復旧・復興の取組状況を分析し、まちづくりの課題と復興モデルを提示する。

## 【研究方法(手法・方法)】

(1)まちの実態にみる復旧・復興の現状

社会構造(人口・産業等)と空間構造(交通体系・土地利用等)を分析し、 原子力災害からの復旧・復興の現状を整理するとともにデータベースを構 築する。

(2)復旧・復興計画の進捗分析

復旧・復興事業と社会構造及び空間構造の変化との関係性を分析する。

## 【期待される研究成果】

- ●データベース構築による福島浜通り地域のまちづくりへの寄与
- ●復旧・復興に関する調査及び分析方法の確立

